

北田原線

第2回 利用促進に向けた三者協議 ニュース

このニュースは、北田原線を今後も持続可能な路線とすることを目標に、「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で利用促進に向けて内容をお知らせするものです。

今回は、令和6年3月に北田原線の運行継続が決定したこと、今後も利用促進が必要であることを確認しました。その後、グループに分かれて、北田原線の利用促進のアイデアを話し合いました。

【開催概要】

日 時：令和6年6月6日(木) 19:00～20:30

場 所：南田原町集会所

参加者：14名(北田原町3名、南田原町7名、星和台4名)

【今回のプログラム】

1. 北田原線の運行継続について
2. なぜ今後も利用促進が必要？
3. 前回の振り返り
4. グループワーク
5. 次回について



当日の様子

参加者から人気のあったアイデア

グループワークで参加者が考えた利用促進アイデアについて、参加者全員で人気投票をしました。人気の高かったアイデアは、下のとおりです。



- ▶ 北田原城跡・高山城跡・磐船・星のブランコに、バスを使って観光してもらうための取組をする。
- ▶ 北田原線の沿線に目的地をつくる。例えば、役所の出張所機能。



【星のブランコ】
(大阪府民の森HPより)



- ▶ 部活の遠征や小中学校の遠足でバスを利用してもらう。
- ▶ 北田原線の特別券をつくる。
- ▶ 北田原線沿線の事業所へバス通勤をPRする。



- ▶ バスを使って遊びに来てもらえるように、SNS やテレビで発信する。
- ▶ 市役所や市内事業所も巻き込んで、ノーマイカーデーなどの取組をみんなで実施する。
- ▶ 65歳以上を対象としたシルバーチケットや、長距離利用割引(年齢制限なし)をつくる。
- ▶ 歩こう会での企画に、バスを組み込む。
- ▶ バスでめぐる「おいしいものめぐりツアー」やマップをつくる。
- ▶ 広報誌いこまの企画「バスでまちぶら」で、バスで行ける市内おすすめスポットが紹介されていたので、観光協会と連携して、実際にまちぶらできるバスツアーを組む。

バスでまちぶら



路線バスで行ける、市内のおすすめスポットを紹介し、ぜひ足を運んでください。
問い合わせ先 ☎0743-74-1111、内線2310

年末年始の観光に、住吉神社を

通称「おまつり屋」として親しまれる住吉神社は、1,200年以上の歴史が誇る古くからの神社です。住吉大社の三社と神功皇后が祀られています。ご参拝である程の木の歴史は50年以上、樹高は3.4mもあり、市内で一番太い木と謳われています。12月下旬には、カンショつゆ博覧会も開催予定、バス停から近く、静かな神社です。年末年始の観光にもおすすめです。
生駒市観光ボランティアガイドの会 小川 浩二 さん



今回のプログラムの振り返り

1. 北田原線の運行継続について

北田原線の運行継続が決定したことを説明しました。これからも北田原線の運行を維持していくため、三者協議での話し合いを継続し、三位一体(利用者/地域・奈良交通・市)で利用促進に取り組む考えを説明しました。

2. なぜ今後も利用促進が必要？

市が今後財政支援することで、市内バス路線全体が収支均衡となるため、北田原線の運行継続が決まったものの、利用が減れば、再度路線の見直しが必要となるので、利用促進は今後も必要であることを説明しました。

現行の運行を続けるための条件について

現行の運行を続けるための条件

- ・北田原線の収支均衡
 - あと1便あたり4.9人/便※の利用
 - ※R4年度実績値
目標人数17.6人/便(R4年度実績12.7人)
(R4年度見込み時点の数値は、目標人数)
- ・もしくは市内全体での収支均衡
 - 市内全体で約3千万円の赤字

前回資料より

現状での運行期間 令和7年

【資料2】なぜ今後も利用促進が必要？

なぜ今後も利用促進が必要？

→バス路線の運行を継続していくため

(協議の期限がなくなっただけで、利用が少なければ見直しが必要になることは今後も変わらない)

今後も継続する取組みについて

利用者(地域)、奈良交通、市が三位一体で利用促進に取り組む。

主体	内容
利用者(地域)	三者協議を通して、地域が主体となった利用促進を実施など
奈良交通	市や利用者の取組みへの協調、CI-CA plusの利用促進など
市	バス運賃100円DAYの開催継続、市内交通マップの作成など

8月3日(土・どんとこまつり開催日)にバス運賃100円DAY開催決定！ 秋開催も計画中

【資料3】なぜ今後も利用促進が必要？

3. 前回の振り返り

前回の三者協議で話し合った内容の振り返りとして、「北田原線 第1回 利用促進に向けた三者協議 ニュース」を使い、三者協議に参加できない方の意見も地域で集めて話し合うことを説明しました。

4. グループワーク

3つのグループに分かれて、北田原線の利用促進のアイデアを話し合いました。

5. 次回について

今回のアイデアをもとに、次回は具体的な取り組み案を検討することを説明しました。

グループワークによる地区別のアイデア出しの結果(生駒市 HP でもご覧いただけます)



利用促進のアイデア・協力者の募集

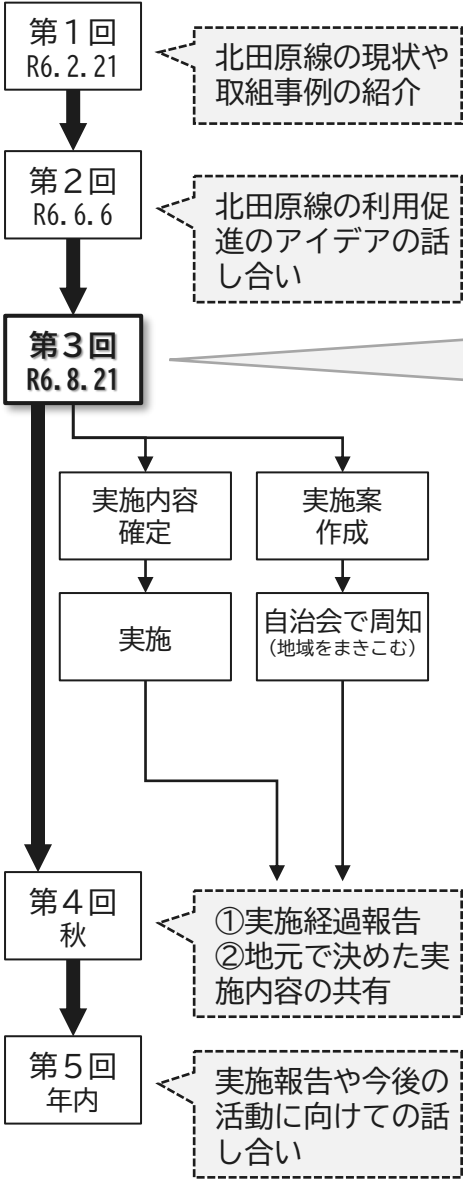
今後利用促進の取組みを検討・実行していくためには、今回お集まりいただいた方々に加え、さらに地域が丸となって取組みを進める必要があります。利用促進のアイデアをお持ちの方、「こんなお手伝いならできる」という方は、ぜひ次回以降の三者協議にご参加ください。三者協議への参加が叶わない方は、協議に参加される地域の方、もしくは生駒市の下記連絡先までご意見やアイデアをぜひお知らせください。

連絡先: 生駒市 建設部 事業計画課
TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HP はこちら→



本日のグループワークのプログラム



本日のプログラム

本日の
テーマ

前回の三者協議で出てきたアイデアや取組案から、
地元主体で実施できそうな内容について深掘りします

ワーク1

40分

- 施策リスト（または次ページの資料）を全員で確認して、自分たちや地元のみなさんが主体となって出来そうなことを選びましょう
- 出来そうな施策の中から、今年度やってみたいことを選びましょう
- 今年度やってみたい施策について、活動内容・実施内容を、具体的に考えてみましょう（1つでも十分です）

ワーク2
(共有)

20分

- 他のテーブルの【ワーク1】の結果を共有しましょう
→前回と同様、巡回します
- 自分のテーブルに戻り、【ワーク1】で考えた実施内容を見直してみましょう

共 有

9分

<各テーブルで、代表1つを発表>
※実施内容を確定してすぐに実行するのか、それとも自治会で周知や投票を行い地域のまきこみを図るかも、発表してください

終 了

前回三者協議で出てきたアイデアをグルーピングしました



- ・ 歩こう会でバス活用を企画する
- ・ 歩こう会以外の地域のイベントを企画する
例えば、子どもと一緒に楽しめるイベント
- ・ 路線バスでめぐるツアー・マップ作成（バスでまちぶらのツアー）

<自分たちでできること>

ツアーやルートの企画や実施／手書き地図の作成 など



- ・ 北田原城など地元や周辺の観光地での楽しみ方を伝えるとともに、バスでのアクセス方法も伝える
- ・ 観光ボランティアガイドの会といっしょに企画する
- ・ 発信する方法（SNS、ショート動画）も考える
→中高校生など若い人たちが得意な分野かもしれませんね

<自分たちでできること>

バスでのアクセス方法や観光ルートの企画／情報発信 など



- ・ 自治会で支援（お金や人）できることを考える
例えば、バス停の椅子の整備支援、時刻表印刷と配布
- ・ 赤字などの経営状況や利用者数など、路線バスに関する情報を、回覧以外で伝える方法を考えて実行する

<自分たちでできること>

自治会費から、どれくらい捻出できるかの総額から、何ができるかを考える／地域への発信方法の検討 など



- ・ 取組を一緒に考えてくれる人、実行してくれる人を増やすための活動を考える
- ・ 三者協議に参加してくれる人を増やすための活動を考える
- ・ （地域をまきこむ・もりあげる・ひろげるための広報役になりそう）

取組のアイデア			シールの数				しやすさ スピード感	主体
			<赤> 星和台	<青> 南田原	<緑> 北田原	合計		
地元								
自分たちがバスを楽しむ	歩こう会でバス活用を企画する	ウォーキングマップ歩こう会での企画にバス乗車を組み込む。	★	3		3	○	地元
		自治会行事や歩こう会でバス利用する	2	★		2	○	地元
	「バスでまちぶら」のバスツアーを企画する	2023年度の広報誌いこまちの企画「バスでまちぶら」に路線バスで行ける市内のおすすめスポットが紹介されていた。紹介だけでなく、観光協会と連携して、路線バスを利用したツアーを組む。	★	2	1	3	○	地元
	バスグルメツアーやマップづくり	おいしいものめぐり／路線バスでめぐるツアーやマップ作成など。	★		3	3	○	地元
地域の外へ魅力を伝える	観光で来てもらう	観光客に北田原へ来てもらってバスを利用してもらう。北田原へ来てもらうための仕掛けづくりが必要。			★	0	○	地元
		・魅力的なスポットを周知	1		★	1	○	地元
		・テレビやSNSで発信		3	★	3	△	地元
		・北田原城、高山城、	3	2	★	5	○	地元
		・磐船、ほしのプランコ		5	★	5	○	地元
		・北田原までバスで来た後に徒歩で散策するモデルコースをつくる			★	0	○	地元
	観光ボランティアガイドの会と一緒に企画する	観光ボランティアガイドの会に協力をおおぎ地域を知る企画 ex)高山狭戸…北田原城跡…竹林口	★		2	2	○	地元
魅力を発信する	魅力を発信する方法（SNS、ショート動画）を、若者や中高生と一緒に考える							
自分たちが乗りたいと思えるようにする	車からバスへ転換を働きかける	地域でノーマイカーデーを実施する		2	★	2	○	地元
		沿線地域の企業にもノーマイカーデー導入を呼びかける		1	★	1	△	地元
		バスへの転換のメリットの伝え方や内容を考えることが大切						
	地域のイベント時にはバスに乗り	麻雀などのイベントあればバス利用する	1	★		1	○	地元
		バスに乗り目的が必要→イベントをすればバスに乗り乗るわけではないので、どうすればバスに乗り乗るのかを考えることが大切		★		0	△	地元
	地域発案の企画乗車券などの開発・購入	自治会から奈良交通へ依頼し、特別券を作ってもら→奈良交通が赤字にならないように、地元がしっかりと購入することも大切。	3	★	1	4	○	地元
	自分たちでベンチ設置や美化活動をする	自治会からの寄付や企業等からの広告費を活用してバス停に椅子・ベンチを設置する。	★		1	1	△	地元
		時刻表を各家庭に配布する	★	1		1	○	地元
地元発の情報発信を強化する	三者協議資料などを回覧で回すだけでは関心がない方はスルーしてしまう。市域全体で3000万円の赤字だということを自治会活動内での口コミ等、しっかりとつたえることで、乗ってみようという方が増える。	★		1	1	○	地元	
地域のみんなを巻き込む	新たな参加者を増やす	取組と一緒に考えてくれる人、実行してくれる人を増やすための活動を考える						
	地元企業・事業所から応援してもらう	沿線商業施設や医療機関に協賛を得る	★		1	1	△	地元

★：アイデアを出した自治会

取組のアイデア			シールの数				しやすさ ポイント感	主体	
			<赤> 星和台	<青> 南田原	<緑> 北田原	合計			
奈良交通									
路線	ルートの折り返し位置	ニュータウン線 稲倉→北口（ターン）	★			0	△	奈良交通	
		生駒台循環線 外回りに宛の木	★	1		1	△	奈良交通	
	自由乗降方式の導入	自由乗降：警察OK必要 交通量多いと×		★		0	△	奈良交通	
	急行系統の導入	朝 通勤時間帯は、快速バス/バス停とばしなど、運用工夫できないか→ 新生駒台北口から停車しない快速バスの運行		★		0	△	奈良交通	
運賃割引	高齢者割引	65歳シルバーチケット・70歳以上長距離利用を割引	3	★		3	△	奈良交通	
		高齢者パス 価格ダウンか期間短縮	★	2		2	○	奈良交通	
	1日券	ワンデーパス	★		1	1	○	奈良交通	
	回数券	運賃割引の方法が沢山あると良い 例えば回数券のイメージ： 10回乗って1回無料、1000円で1050円分、昼1150円分			★		0	△	奈良交通
		回数券を販売する		1	★	1	△	奈良交通	
	乗継割引	乗り継ぎ割引	★			0	○	奈良交通	
	その他	雨降り割引	★	1		1	○	奈良交通	
		顔認証バス＆電車～自動の割引システム		★	3	3	×	奈良交通	
車両	車両の小型化～狭あい道路の運行	あの大きな車両は必要か？ 7割(?)人件費、小型化してもほぼ同じ	1	★		1	×	奈良交通	
啓発活動	乗り方を教える	バス使い方分からない→久しく利用していないと、交通系ICカードの使い方や、現金の両替の仕方やお釣りが発生する場合の払い方が分からないため、バスを利用しづらく感じる。替	1		★	1	△	奈良交通	
		乗り方教室を開催する		1	★	1	△	奈良交通	
その他	その他	バスに自転車を載せる	★			0	×	奈良交通	

生駒市								
広報活動の強化	若者向けの情報発信	インフルエンサーを呼ぶ		1	★	1	×	？
	年代に合わせた呼びかけ方法を検討	年代に合わせた転換呼び掛けの取組みが必要。			★	0	△	
	いきいきクーポンの活用方法の呼びかけ	いきいきクーポン 74歳～ バス利用に活用してもらう		★		0	○	市
利用促進	沿線に目的地をつくる	北田原に市役所の分署（簡単な手続きができる）を設置すれば、バスを利用する目的ができる。	2	3	★	5	×	市
	遠足とかで使ってもらう	地元の小中学校の遠足や部活遠征などでバスを利用してもらう。	1	2	★	3	△	学校
		部活の遠征	1	3	★	4	△	学校
	民間企業のバス通勤の促進	生駒駅から通勤バスを独自で運行している民間事業所があるため、路線バスを利用してもらえるようPRする。		★		0	×	市
	駐車場料金よりもやすくする	市営駐車場よりもバス運賃（往復分）が安ければバスを利用するため、バスを利用してもらえる駐車場の駐車時間をPRしてはどうか。		★		0	○	市
	サイクル&バスライド	駐輪場の整備 サイクル&ライドの設定	★			0	△	市
	バス停の環境整備	雨や陽ざしを遮るもの→バス停に上屋を設置する。 お松の宮のバス停が暗い、不安	★			0	△	市
交通政策の充実	小中学生の通勤・通学が公共交通で行けるようにする	モデル都市生駒にふさわしい交通対策を実現！公共性を確立へ 小中通学・通勤の完全化	★			0	△	市
	公共施設に公共交通で行けるようにする	市立病院や図書館等の行きたい場所へ行く 目的地への移動の保障	★			0	△	市
関係者の増加	企業を巻き込む	沿線の事業所へPRを（外国人のバス利用あり）	1	★	3	4	○	市
その他	定住促進（人を増やす）	沿線地域の住民が減ってきているので、利用者を増やすためにも、定住促進し、定住者を増やす必要がある。		1	★	1	×	市
	ノーマイカーデーの実施	沿線住民だけではなく、市役所をはじめとした市内事業所も巻き込んで利用促進を進める。		★	3	3	×	市

★：アイデアを出した自治会

秋の

バス運賃

生駒市内
限定

100円DAY

(1乗車)

小学生以下は無料

ワンコイン!

路線バスで
おでかけしよう



100
令和6年

2024年
10月12日(土)、11月10日(日)

割引条件

現金のお支払いのみが対象

小学生の方は運賃をお支払いの際、
運転手に「小学生」とお知らせください。
※交通系 IC カードは利用できません。

【対象路線】生駒市内を走る路線バス

※市内の路線バス（生駒山麓公園ふれあいセンター送迎バス含む）

※乗車地もしくは降車地が市内であれば対象となります。

（市外から市内、市内から市外も対象）

※エヌシーバス（東山駅～近畿大学奈良病院）は対象外です。

※詳しくは生駒市ホームページをご確認ください。



生駒市ホームページ
はこちら



バス路線を守るには皆さんの力が必要です



市内を走る路線バスは、少子高齢化による利用者の減少や深刻なドライバー不足などの影響で、運行を続けることが難しくなっており、市民の皆さんと事業者、市が一体となって利用促進に取り組んでいるところです。その取り組みの成果の1つとして、現在、市内の小中学生が描いた「バスに乗ろう ポスターコンクール」の最優秀賞3作品が、バス3台にラッピングされて運行していますので、ぜひこの機会にラッピングバスを探してご乗車ください。

月に1回だけ、雨の日だけ、散歩の帰り道だけ、そうした皆さん1人1人の少しずつのバス利用の積み重ねが、バス路線を守ることに繋がります。

